

会派名称	支出伝票番号
共産党	100 - 105

政務活動費支出伝票

経費区分	広報・広聴費		
支出年月日	令和 5 年 9 月 20 日		
支出額	532,730 円		
用途及び内容			
広報紙等作成費			
按分による支出の場合の記載事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・全体の経費 (532,730 円) . . . A ・按分の率 (100 %) B 			
			政務活動費の支出額
A × B =			532,730 円

<<領収書等証拠書類の添付

ご利用控え

- ご預金の預け入れの場合は、必ずお渡帳をご利用願います。
- 銀行からカードの暗号について、お問い合わせすることは絶対ありません。

区分	機番	処理番号	日付
お振込	1125496	05-09-20	
銀行番号	店番		取扱店店番
金額		金額	
万円	五千円	二千円	千円
			800円 100円 50円 10円 5円 1円
手数料 (消費税等を含む)		金額	
14:16	¥330円	¥532,400円	
おつり		残高	
円		*****円	
手数料のうち振込手数料		¥330	
		000038	
カ)カナガワキカンソウソウソウヨ 様			
ニホソキヨウリソトウカナガワケンキカイ			
キ"インタ"ソ 様			
電話番号 045-210-7882			

備考欄

県議会報告2023年夏号
手数料含む

裏面を必ずご覧下さい



県民に寄り添う 声をつなぐ

歴史的な物価高騰。県の対策予算167億円のほとんどが、国の財源です。県民を直接支援する県独自の負担軽減策が見えません。

猛暑や豪雨などから命を守る災害・気候危機対策が急務です。

また、国が軍備拡張路線に突き進む今、自衛隊や米軍の重要な

施設のある県が、現実的に平和をどう守るかも問われています。

誰もがその人らしく生きることができ、さまざまな個性を彩りに変えていく県の取り組みが求められます。

日本共産党神奈川県議団は、県民の声を繋いで奮闘する決意です。

第2回定例会論戦

県に求められる役割をはたせ

- ① 黒岩知事の人権侵害問題について責任を追及しました。
- ② 県立高校改革の見直しを求めました。
改革という名の高校統廃合は教育環境の悪化に。
- ③ 県立高校定時制の募集停止計画の見直しを求めました。
18校のうち6校もの学校が対象。
- ④ 結婚支援事業の問題を指摘しました。
事実婚や同性カップルも支援の対象にと求める。
- ⑤ 部活動の地域移行の課題を指摘しました。
主人公である中学生の声を聴くべき。
- ⑥ 産業労働常任委員会に海外調査(13人総額944万円)が提案され、多額の税金を支出する海外視察については、諸課題の中での必要性などについて厳しく検討するべきと反対。



トピックス

3人体制へ



横須賀市選出の県議の逝去を受け、井坂しんや県議が繰上当選となりました。3人の県議団で県民要求の実現、県民生活の支援に力を合わせます。

県議団は、県民が主人公の県政実現をめざします。

文書質問や懇談・申し入れなど、あらゆる手段を尽くして県民の福祉増進に貢献すべく、みなさまと力を合わせて頑張ります。

え!!

4分の1が無人駅

予算委員会で大山奈々子の追及



▲障がい者の方々と無人駅を視察

日本共産党
神奈川県議団

第2回
定例会
報告

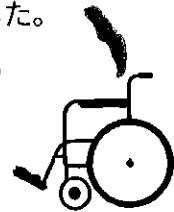
鉄道駅の窓口が無人化されて困っているという障がい者の方の声を受け、多様な障がいのある方々とともに京急追浜駅などの視察を実施しました。

代替策とされるモニターフォンなどでは、駅員の代わりにはなり得ないことを痛感。委員会質疑では県内鉄道駅389駅中、実に99駅が無人(時間限定も含む)、無人窓口は69駅に上ることがわかりました。乗降客の多いJR桜木町や京急鶴見駅でも窓口が無人化されています。

県に対し、県民の福祉向上の観点に立ち、困っている県民に寄り添うべきだと改善を求めました。

答弁では、無人駅の有人化などの地域のニーズもあるので駅の利用実態を市町村からよく聞いて必要な要望を国や事業者に行っていく、との姿勢が示されました。

すべての県民が安全に利用できる公共交通を求めていきますので、ご意見ご要望をお寄せください。



〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1 県庁内
TEL 045-210-7882 FAX 045-210-8932



▲文書質問等
詳細はこちら

知事の 資質を 問う

知事選の最中明らかになった知事の女性への人権侵害について、文書質問を行いました。知事が健全な人権感覚をもって県政運営にあたるのが重要です。20日間で460件もの苦情が寄せられたことが明らかになり、共産党県議団は本来であれば辞職すべきだと指摘しました。

共産党県議団

求め続けて前進しました!

政務活動費の領収書が
インターネット公開されることに!

全県立高校で太陽光パネル設置

既存住宅省エネ改修事業費補助の
予算が20倍に

全33市町村で
同性パートナーシップ制度開始!
広域連携を可能にする県の制度こそ
求められます。

請願と意見書に対する各会派の態度は…

	名称	共産	自民	立民	未来	立憲	公明	維新	結果
請願	請願・陳情の採決に対して 審議した委員会で会派は審査の結果と共に その理由を述べることを 求める請願	○	△	△	△	△	△	△	継続 審査
意見書(案)	インボイス制度の導入中止を 求める意見書(案)	○	×	×	×	×	×	×	否決
	改正入管法の廃止・見直しを 求める意見書(案)	○	×	×	×	×	×	×	否決
	マイナ保険証の施行中止等を 求める意見書(案)	○	×	×	×	×	×	×	否決

共産党と交渉会派のみ記載

○は賛成 ×は反対

困った時はいつでも
ご連絡ください
jcp.kanakengidan@gmail.com



大山 奈々子 (団長)
☎ 045-543-4138



井坂 しんや
☎ 046-849-1951



木佐木 ただまさ
☎ 045-504-5121